

岡 田 宮

—(宝永 4 年) 1707 年 貝原益軒書—

第 18 号

平成 6 年 7 月 吉 日

発行 岡田宮社務所

北九州市八幡西区岡田町 1 番 1 号
郵便番号 8 0 6

電話(093)621-1898

F A X (093)621-5330



平成 6 年 3 月 26 日

岡田神社氏子総代会研修旅行

於熊本県菊地市 北宮阿蘇神社

夏越祭

(七月二十九日)

夏越の大祓神事を七月二十九日午後六時より執り行います。

社頭に茅の輪を設け、その茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄とを招来するといふ古式に則った夏越祭を厳修致します。

ご参拝の方は左記の形代に御家族の住所、氏名、年齢とを書いて、各自の息を吹きかけ初穂料を納めお参り下さい。

ご参拝の方には「お札」と「茅」を授与致しますので、魔除として、玄関に奉斎して下さい。

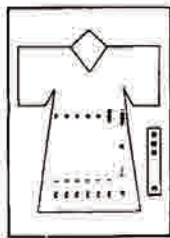
当日、お参り出来ない方は前もって社務所で形代をおあずかり致します。

産土森神 守護

お札



形代 (表)



形代 (裏)

神社なぜ問答

(その17)



問 結婚式場の神主、牧師はみんな資格を
持ってるの。

答 全国にある約8万の神主を取り仕切る神

社本庁(東京・代々木)によると、ホテルや結婚式場での結婚式を執り行う場合、神主や巫女(みこ)さんはホテル近くにある神社から派遣してもらうことがほとんどです。神主の場合、大学や養成所で勉強し、神社本庁から正式な資格を与えられています。巫女さんは、奉職先の神社で作法の訓練を受けます。それだけに、都内の結婚式場に向くある神主さんによれば、「資格のない人間が、対応

することは珍しい」。

ただ、中には職員に資格を取らせたり、資格がなくても作法だけを習って対応するケースもあるそうです。別に法律で決められているわけではありませんが、資格のない人が式を執り行うのは、「カップルに対する信頼感や、信仰上で問題がある」ことには変わりありません。

ホテルのチャペルで結婚式を執り行う場合も、資格を持った神父(牧師)が対応します。都内のあるホテルでは神父さん専用の派遣会社から派遣してもらっているそうです。

法律上規制ないが

“本物”多い

【WHY取材班】



七
五
三

七五三祭は、子どもの成育にともない折り目、切り目に神社にお参りして、いっそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の祝いを髪置、五歳の祝いを袴着、七歳の祝いを紐落などと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行なわれた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行なわれます。

なお、平成五年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

三歳	平成 4 年 生
五歳	平成 2 年 生
七歳	昭和 63 年 生

※年齢はかぞえ年です。

郷土地名考

⑰

養福寺（ようふくじ）

寺院跡、一八八二年（明治一五）の小字調べで養福寺となっており、廃寺となったのは随分昔のことらしいが、文献が見付からず由緒は分からない。一九一一年（明治四四）には七町七反の広さで、水田四二町歩の灌漑池ができています。おおかた寺院跡も、水底に沈んだのであろう。町名は、小字による。

養福寺貯水池はこの池を買収した新日鐵が、一九一八年（大正七）着工、一九二七年（昭和二）完工した工業用貯水池。春には土手の桜約七百本が咲き人を呼ぶ。

割子川（わりこがわ）

養福寺横を流れる川の名による。今から五〇〇年ほど昔、多々良朝臣義隆という武士が川のとりを歩いているとき、水晶の玉を水に落とした。しかし玉は割れずにすんだ。だから割れん川と呼んだのが割子川になったと伝える。何だか落語みたいな命名だ。この玉は穴生の鷹見神社の神宝になっているそうだ。

市瀬（いちのせ）

北九州道路の黒崎インターランプ南側、割子川の上流域にあたる。一八八九年（明治二二）の町村合併で上津役村ができるまで市瀬村だった。東に帆柱山に連なる坊住山。昔は鷹見神社の宿坊が幾つもあったてそう呼んだという。

橋が架かっていなかった頃、村人は浅瀬や流れの石を踏んで渡っていた。その場所が渡り瀬、渡瀬（わたせ）であり、石渡とか石飛または鹿飛（ししとび）になり、猿が渡れば、猿飛、猿橋、地名が人名になる。

そうして上から数えて一ノ瀬、二ノ瀬、三ノ瀬。市瀬ももとは一ノ瀬と書いていた。北九州・直方道路の下を通過して鷹見神社参道下の清瀬付近がそうではないかという話だ。

静かな田園もいまでは新興住宅地に刻々と変貌をとげている。

的場町（まとはまち）

元は引野村の小字。字義通りの場である。射的の練習場だが、弓矢が弓術として確立したのは鎌倉時代かららしい。主な流派は小笠原流、日置流で各派がある。

立って射る歩射（ぶしや）のほか古流に流鏑馬（やぶさめ）笠懸（かさがけ）があり、豊作祈願の神事になった。弓矢の戦争はなくなったが、湾岸戦争でぶっ放されたミサイルも元来、矢のことである。新型ミサイルのトマホークはインデアンの手斧だ。二〇〇キロ離れて命中精度10メートル以内というのだからたまらん。米軍には赤い矢師団がある。

的場は中世荘園時代の名残だろう。付近は丘陵地帯で園芸果実を栽培していたが開発が進み、北九州ハイッ、的場池公園、体育館、八幡南高校など。同じ地名は福岡市にもある。門司の大里にも的場はあったが、一九六九年（昭和四四）の住居表示で柳町の中に消えた。

神社と環境

かつて、神社はどこも常緑樹に覆われてコンモリとした森を作っていました。高々と大空にそびえるご殿の千木を覆う、うっそうたる樹木は、神社のおごそかさを、いやがうえにももりあげていました。

そもそも、上古において神木または清浄な森を神霊のお鎮まりになるところとして、おまつりした神社が多いように、自然の森が、神霊の依りたもうために最もふさわしい祭場であるという祖先の信仰が、神社の森をこのように育てて来たのです。

だが、最近の都市の神社を見ますと、数年前に比べて、著しく樹木の減少したのに気づきます。

このことは神社のみに限られません。最近の大気汚染や化学公害は、すべての動植物を傷つけそこない、その生命を奪いつつあります。

市内の神社や公園の樹木、また拡張舗装された道路に圧迫された街路樹は、工場煤煙に汚れ、過密の自動車の排気ガスに除々におかされ、朽ち果ててゆきます。

郊外にあっては、観光開発とはいえ、至るところに自動車高速道が走り、ゴルフ場やホテルなど娯楽場の造成は目を見はるばかりで、そのために、野は枯れ、山はハゲ山となり、ことごとく人工化されて、緑の帯を失っていきます。

かつて私たちが、野原に、川辺に求

めた昆虫の姿はまったくなく、野鳥もしだいにその鳴き声の遠のくのを感じます。

子供の遊び場は、交通事故におびやかされ、幼ない子供たちは、索漠たるコンクリートの町で、自然の恩恵を全く知らぬまま、貴重な幼児期を過ごしていくのです。

このいまわしい公害から、神社の森を守ることは、神社の尊厳護持にかかるとはもちろんです。それにもまして、神社の森を自然環境を守る最後の砦として、全国の自然環境破壊者に抗議し、緑化運動の奨励をなすものとならねばならないのです。

とくに神社の緑は、見る人の心をやわらげ、参拝者は緑樹のもとに心のやすらぎのを感じるものです。

そしてまた神社の森は、子供たちのよい遊び場ともなります。木の葉を拾い、木の実をさがし、池の魚や水草に見入り、自動車を気にすることなく、はだいで、裸で走りまわることが出来るのです。そしてこのことは、まつりのにぎわいと共に、幼い心に一生の思い出となるふるさとを残していくのです。

こう考えますと、神社だけに限りませんが、一本の木、一本の枝といえども傷つけることは、自然環境の破壊へとつながります。私たちは、充分このことを心して、一本でも多くの樹を植え、次の世代の人たちのために育てていかなばならないのです。

平成六年度

岡田神社崇敬会

ご入会のご案内

謹啓 氏子、崇敬者の皆様方には益々御健勝の事とお喜び申し上げます。常々、当社の護持運営につきましては平素より格別の御賛助を賜り厚く御礼申し上げます。

当社も五十年に一度の記念事業が無事終了いたしました。ご社殿も立派になり参拝者も非常に増え、御神威の発揚、唯感謝の至でございます。

現在、当社では毎朝、日供祭（神前に御食事を差し上げる神事）を御奉仕し、多くの方々の健康と繁栄等を祈願しておりますが、氏子総代一同協議の結果、より多くの氏子崇敬者をお誘い申し上げようとの度、崇敬会を結成する事に相成りました。そして、より一層充実した神社運営を計り、又、次世代を担う子供達の育成の為、誠に恐縮に存じますが、深いご理解とご賛助をお願い申し上げます。 敬具

岡田神社宮司 波多野 直之
岡田神社総代会会長 末益 友之助

他総代一同

記

一、目的

岡田神社の護持運営、神社祭典の一層充実。秋季大祭の奉納子供相撲、稚児行列等。どんと焼祭（せんざい）餅つき、餅まき、福引き等）

一、特典

岡田神社で毎朝行われる日供祭（神前に御食事を差し上げる神事）に於いて、奉賛者の一年間の健康と繁栄等を祈願致します。又、岡田神社の最も貴い祭事であります秋季大祭に特別ご招待致します。

一、加入方法

岡田神社事務所又は神社総代にお申込、又はお問い合わせ下さいませ。奉賛金は年、一口千円です。お一人何口でも結構です。（この奉賛金は任意であります）
※ 奉賛金は岡田神社氏子総代会で責任を持って運用させていただきます。
口座番号 郵便局
福岡五十一七二二八八 筑邦銀行黒崎支店 普通預金一五三二七〇一
名称 岡田神社崇敬会

編集後記

六月の毎日新聞に「ニセ神主で米式 爾々と一数年熊本の高級ホテル 従業員を代用」というニュースが書かれていました。

戦後たくさんの結婚式場が建てられ、その数は全国で二万とも二万人とも言われています。しかし神職は全国で二万人しかおりません。従業員を代用しているという噂はよく耳にしますが、熊本のニュースカイホテルの様な格式の高いホテルが行なっているとは大変驚きました。

法律で決められているわけではありませんが、資格のない人が式を執り行うのは、両家の家族親族、若い新婦新婿に対する信頼を裏切り、その神殿の神様に対しても大変失礼な事だと思えます。

北九州市内の式場もニセ神主がいるという噂をよく聞きます。これから式を挙げられる方は一度式場に確認をさせていただきますか。
●好評の 神社なせ問答 出様のたくさんのおたよりをお待ちしています。

●平成六年度の岡田神社崇敬会の申し込みを受けつけています。

●ご入会いただく方々の一年間の家内安全、繁栄等を毎朝祈願いたします。多くの方々のご入会をお待ちしております。

●祝祭日には国旗を掲げましょう。

●一日、十五日には神社にお参りしましょう。